

子どもの情動発達に関する調査(2022-2025) ご報告

概要

対象

- 園を通じてご参加いただいた年少児のお子さんのいる全国 22 ケ園, 321 家庭

期間

- 2022 年～2025 年

調査内容とスケジュール

	調査内容	評定	被評定	年少冬	年中夏	年中秋	年中冬	年長夏	年長秋	年長冬	小1夏
個性	1 気質	親	子	○			○			○	○
	2 取り組み	担任	子		○			○			
成長	1 コンピテンス	親	子			○			○		○
	2 強さと困難さ	親	子			○			○		○
	3 共感/主張	担任	子		○			○			
	4 情動と行動	研究者	子	○			○			○	
	5 日常生活動作	親	子								○
環境	1 子育て	親	親	○			○			○	○
	2 子育て感	親	親	○			○			○	○
	3 家族の親密さ	親	家庭			○			○		
	4 保育コンセプト	園長	園		○			○			
	5 先生の抑うつ感	担任	担任		○			○			
	6 園・学校感	親	子			○			○		○



©Takayuki UMEZAKI at Konan Women's University. All Rights Reserved.

I 子どもの個性

1. 気質

- 行動傾向

測定

- お子さんについて、保護者の方に評定をいただいた
- 7 件法: 全くその通り(7 点)～全くあてはまらない(1 点)

制御(13 項目)のサンプル

- 言われれば、声を落とすことができる
- 待ちなさいと言われれば、新しい遊びに入るのを待つことができる

切替(9 項目)のサンプル

- ノートに絵を描いたり色をぬったりしている時は、かなり集中する
- 時々絵本に集中して長い時間見ている

全体的な結果

- 成長に連れ、必要な場面ではがまんや集中をする



図1 気質の発達

2. 取り組み

- 園での活動の様子

測定

- お子さんについて、担任の先生に評定をいただいた
(ご家庭のご承諾が得られなかったお子さんの評定は依頼しなかった)
- 3件法:とてもよく当てはまる(3点)~当てはまらない(1点)

意欲(11項目)のサンプル

- 活動に生き生きとした興味を示す
- 恐れや抵抗なく新しい活動を受け入れる

持続(9項目)のサンプル

- この年齢の子どもに期待される程度には長く、一つの活動に専念する
- 問題を見たり、解決するのに、十分な時間をかけずに行動する(*)
(*反対の意味。計算時には得点を返した)

態度(7項目)のサンプル

- (先生である)あなたの言うことに注意を払う
- 助けてもらうことを厭わない

全体的な結果

- 対象児の年齢との関連は見られなかった

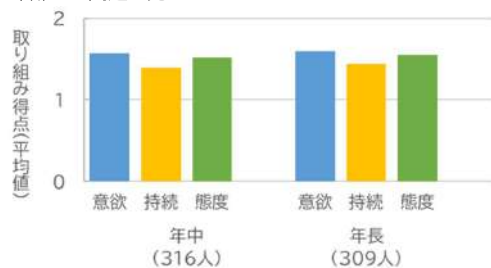


図2 活動への取り組みの様子

II 子どもの成長

1. コンピテンス

- うまくやれるという感覚

測定

- お子さんについて、保護者の方に評定をいただいた
- 4件法:あてはまる(4点)~あてはまらない(1点)

知的コンピテンス(6項目)のサンプル

- 色の名前をよく知っている
- お話が上手

運動コンピテンス(6項目)のサンプル

- 自分でブランコをこぐことが上手
- スキップすることが上手

全体的な結果

- 幼児期を通じて成長。運動コンピテンスは児童期にも成長



図3 知的・運動コンピテンス

2. 強さと困難さ

- 心の健康度

測定

- お子さんについて、保護者の方に評定をいただいた
- 3件法:あてはまる(2点)～あてはまらない(0点)

情動の問題(5項目)のサンプル

- 心配ごとが多く、いつも不安なようだ
- おちこんでしずんでいたたり、涙ぐんでいたたりすることがよくある

行為の問題(5項目)のサンプル

- よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする
- 他の人に対していじわるをする

多動の問題(5項目)のサンプル

- おちつきがなく、長い間じっとしてられない
- すぐに気が散りやすく、注意を集中できない

友達の問題(5項目)のサンプル

- 他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする
- 他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ

向社会性(5項目)のサンプル

- 他人の気持ちをよく気づかう
- 年下の子どもたちに対してやさしい

全体的な結果

- 成長に連れて多動の問題が低下。向社会性が向上

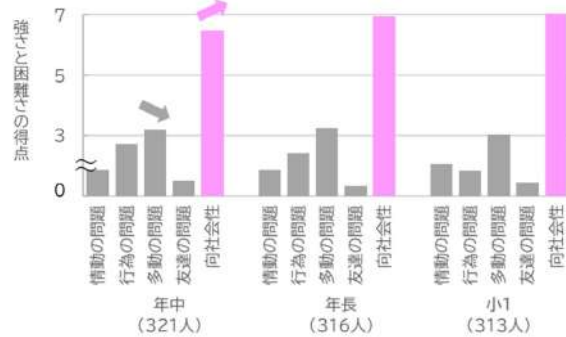


図4 強さと困難さの発達

3. 協調・共感性／能動・自己主張性

- 友だち関係における社会性と自己性

測定

- お子さんについて、担任の先生に評定をいただいた
(ご家庭のご承諾が得られなかったお子さんの評定は依頼しなかった)
- 5件法:あてはまる(5点)～あてはまらない(1点)

協調・共感性(7項目)のサンプル

- グループで活動するとき、他の子どもと協力できる
- お友だちが困っているときに、なぐさめたり助けたりする

能動・自己主張性(7項目)のサンプル

- 自分からお友だちを遊びに誘う
- お友だちと意見が違っても、自分の意見をはっきり言うことができる

全体的な結果

- 成長に連れて、共感する力と主張する力が育つ

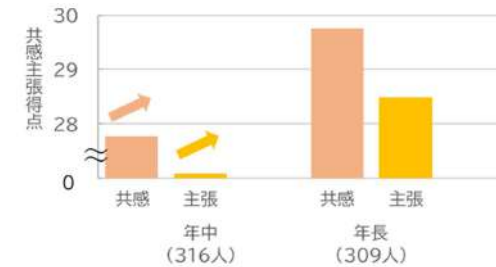


図5 協調・共感性／能動・自己主張性

4. 情動と行動

- 友だちから嫌なことをされた場面の気持ちと行動

測定

- お子さんに園で、研究者がインタビューを行った。お休みの場合は後日 Zoom で実施した（ご家庭のご承諾が得られなかったお子さんへのインタビューは実施しなかった）。
- お子さんに場面を示し「そんなことがあったとき、あなたはどのように感じますか？」と尋ねた。また、「あなたはどのようにする？」と尋ねた。4つの選択肢から1つ選択してもらった
- 情動の選択肢(男児用):うれしい、かなしい、おこる、まあまあ



- 行動の選択肢(断られ場面・女児用):向社会的、攻撃的、泣く、回避的



友だちから嫌なことをされた場面(6 場面)のサンプル

- (女児用) メイと一緒に遊ぼうとリクに言いました。しかしリクは、メイとは一緒に遊びたくない、ソウタと遊ぶつもりだと言いました
- (男児用) ハルが、ブロックでとても高い塔をつくっていました。しかし、突然、リクがそれを倒してしまいました



(4. 情動と行動 つづき)

全体的な結果

- 成長に連れて「うれしい」が低下、「かなしい」が向上

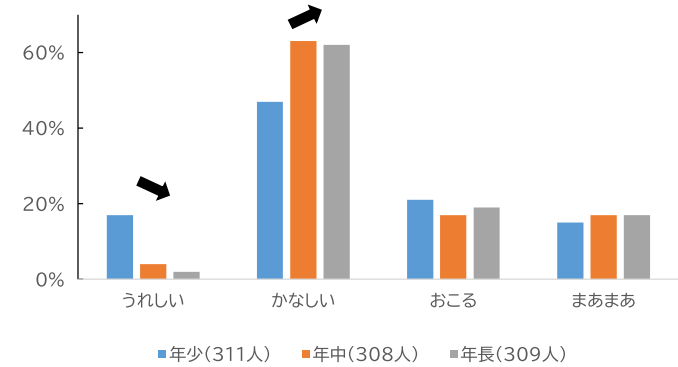


図6-1 情動の発達

- 成長に連れて「向社会的」が向上、「攻撃的」と「泣く」が低下

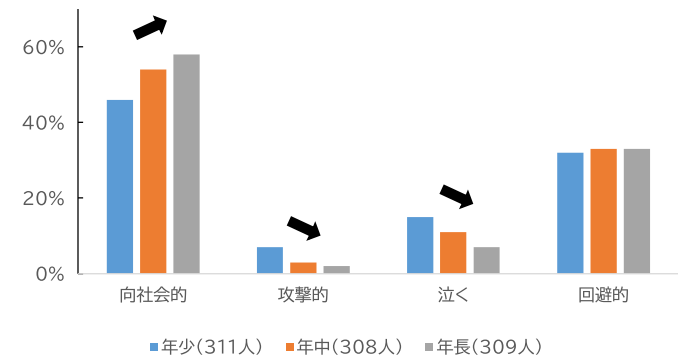


図6-2 行動の発達

5. 日常生活動作

- 幼児が日常的に行う動作の頻度・質・習得までの時間

測定

- お子さんについて、保護者の方に評定をいただいた
- 頻度…4 件法:よくする(1点)～まだしていない/けっしてしない(4点)
- 質…3 件法:上手にする(1点)～ほとんどの場合、上手にできない(または下手な)ことが多い(3点)
- 習得時間…2 件法:否(0点)～(お友だちに比べて)時間がかかった(1点)

日常生活動作(23項目)のサンプル

- 靴下を履く
- なわとびをする

全体的な結果

- 経験の多少と動作の得意・不得意には、関連が見られた

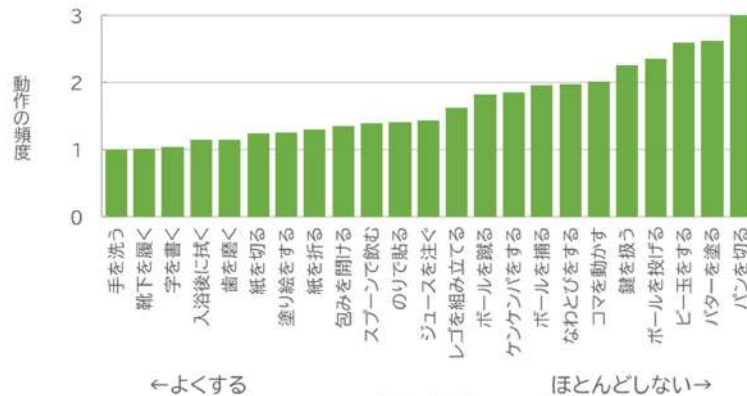


図7-1 日常生活動作を行う頻度

(5. 日常生活動作 つづき)

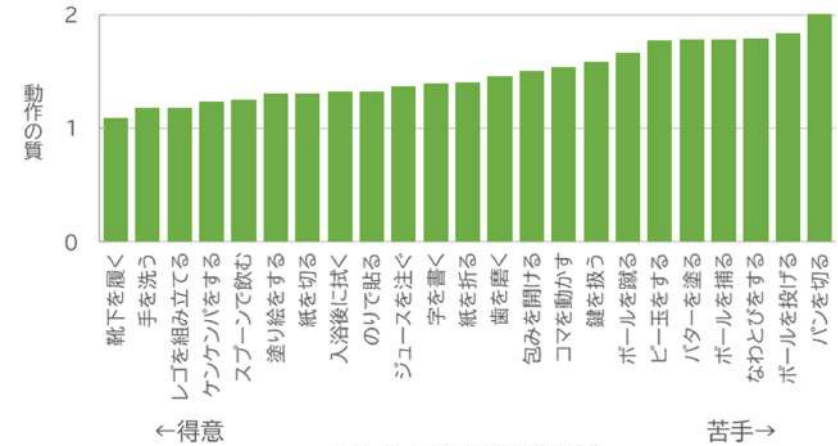


図7-2 日常生活動作の質

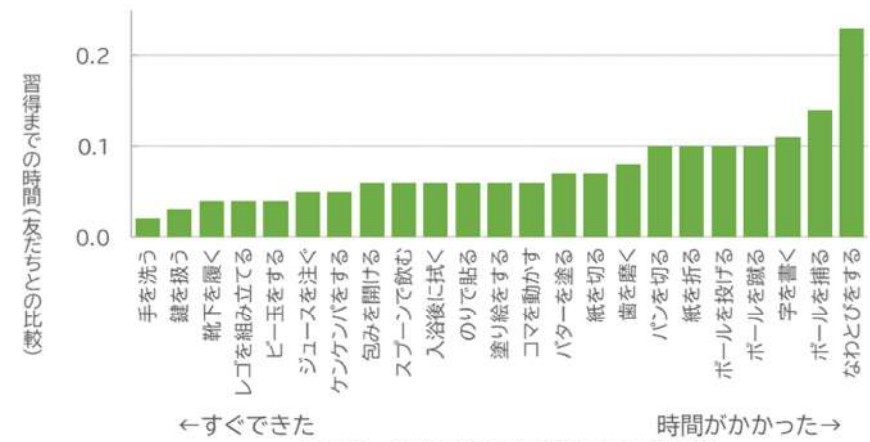


図7-3 日常生活動作の習得までの時間

Ⅲ. 環境

1. 子育て

- 保護者の方の対象児への接し方

測定

- 保護者の方に、お子さんに対するご自身の接し方をお聞きした
- 4件法:全くそのとおりだ(4点)～全く違う(1点)

温かさ(4項目)のサンプル

- ○○ちゃんの見聞・要望を考慮して決まりごと(ルール)をつくるようになっていますか
- 叱る前に、なぜそういうことをしたのかを自分で説明するチャンスを○○ちゃんにあげていますか

放任(3項目)のサンプル

- ○○ちゃんが見たいテレビ番組は、何でも見ることを許していますか
- ○○ちゃんの好きなきときに、いつでも就寝することを許していますか

厳しさ(3項目)のサンプル

- ○○ちゃんに何かをわからせるためであれば、適切な体罰は時には必要だと思いますか
- 本当に悪いことを○○ちゃんがしたとき、手をあげますか

全体的な結果

- 温かい接し方が増え、維持された

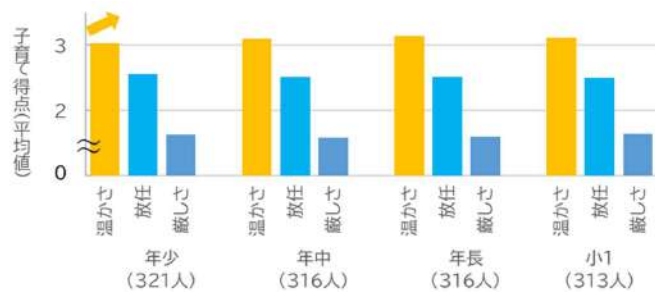


図8 子育ての各側面

2. 子育て感

- 対象児の子育てに対する保護者の方の感じ方

測定

- 保護者の方に、お子さんの子育てに対する感じ方をうかがった
- 5件法:あてはまる(5点)～あてはまらない(1点)

充実感(2項目)のサンプル

- 子育てが楽しいと心から思う

負担感(2項目)のサンプル

- 子育てが重荷に感じられる

不安感(2項目)のサンプル

- 子どものことでどうしたらよいかわからなくなることがある

全体的な結果

- お子さんの年齢との関連は見られなかった

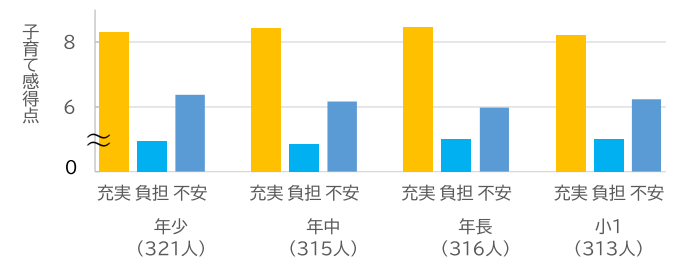


図9 子育て感の各側面

3. 家族の親密さ

- 家庭の機能

測定

- 保護者の方に、ご家族の状況をお聞きした
- 5件法:あてはまる(5点)～あてはまらない(1点)

家族の親密さ(10項目)のサンプル

- 私達は家族で何かをするのが好きである
- 家族はお互いに助け合う

全体的な結果

- お子さんの年齢との関連は見られなかった

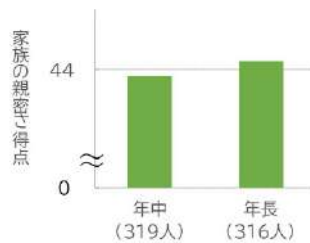


図10 家族の親密さ

4. 保育コンセプト

- お子さんの通う園が大切に保育

測定

- 園長先生に、自園の保育についてお聞きした
- 4件法:週のうち5日以上(4点)～全くない・1日程度(1点)

遊び込む活動(6項目)のサンプル

- 自由に好きな遊びをする
- 好きなことや得意なことをいかして遊ぶ

一斉での活動(4項目)のサンプル

- (小学校のように)全員で同じことに取り組む
- 先生が決めた活動をする

協同的な活動(4項目)のサンプル

- 行事(運動会や生活発表会)などで友だちと協力し合う
- 目標に向けて友だちと協力して取り組む

全体的な結果

- 遊び込む経験が重視されている

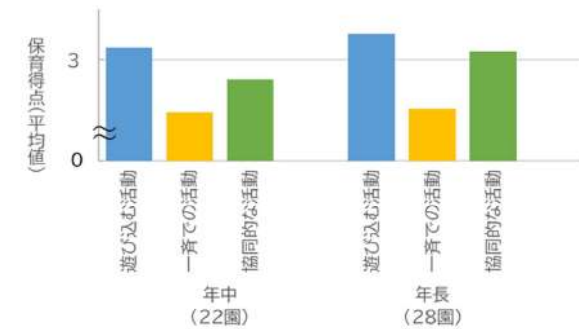


図11 通園施設が大切に保育

5. 先生の抑うつ感

- お子さんの担任の先生のストレス

測定

- 担任の先生に、ご自身が感じておられるストレスについてお聞きした
- 4 件法: 週のうち 5 日以上(4 点)～全くない・1 日も続かない(1 点)

ストレス(20 項目)のサンプル

- ゆううつだ
- 何をするのも面倒だ

全体的な結果

- 対象児の年齢との関連は見られなかった

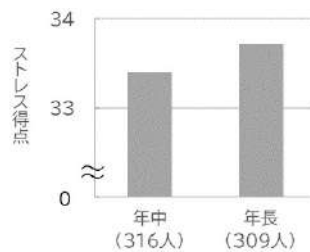


図12 先生のストレス

6. 園・学校感

- お子さんは園・学校が好きか嫌いか

測定

- お子さんについて、保護者の方に評定をいただいた
- 5 件法: よくあてはまる(5 点)～まったくあてはまらない(1 点)

好き(4 項目)のサンプル

- 園(学校)に行くことを楽しみにしているように見える
- 園(学校)であつたいいことを話してくれる

嫌い(4 項目)のサンプル

- 園(学校)を休んで家にいる理由をつくる
- 朝、園(学校)に行く時間になるとうろたえる

全体的な結果

- 成長に連れて嫌いという思いが低下した



図13 子どもの園・学校に対する思い

まとめ

子どもたちが個性的な存在として生まれ、ご家庭や園・学校環境の中で親・先生・友だちと関わりながら、成長していく様子を教えていただきました。

これより個性・環境と成長の関連を分析し、学術的な成果として論文や書籍で発表してまいります。あらためて皆さまにご報告申し上げます。

長い間ご協力をいただきまして、ありがとうございました。お子さま、保護者の皆さま、先生方が、健康でお過ごしになられますことを心より願っております。本当にありがとうございました。

2026年1月

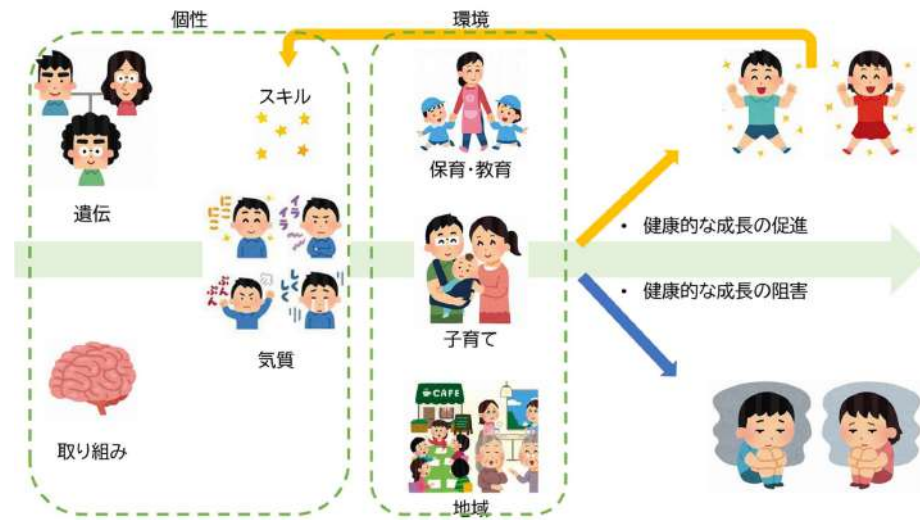


図 14 子どもの成長:個性と環境の相互作用

出典

I. 個性

1. 気質 Rothbart (1988)/Kusanagi et al. (1993)
2. 取り組み McDermott et al. (1996)/梅崎ほか(2023)

II. 成長

1. コンピテンス Harter & Pike (1984)/眞榮城(2010)
2. 強さと困難さ Goodman (1997)/Sugawara et al. (2006)
3. 共感/主張 向田ほか(2006), 菅原ほか(2007)
4. 情動と行動 Denham et al. (1994)/梅崎ほか(2023)
5. 日常生活動作 van der Linde et al. (2014)/梅崎ほか(2026)

III. 環境

1. 子育て Shumow et al. (1998)/菊池ほか(2015)
2. 子育て感 バネッセ教育総合研究所(2007)
3. 家族の親密さ Olson et al. (1985)/貞木ほか(1992)
4. 保育コンセプト バネッセ教育総合研究所(2007)
5. 先生の抑うつ感 Radloff(1977)/島ほか(1985)
6. 園・学校感 Ladd & Price (1987)/本間(2021)

PEERS 情動の発達研究チーム

- 梅崎 高行(甲南女子大学)
- 研究室:078-413-3091
- メール:umezaki@konan-wu.ac.jp



- 共同研究者:久崎孝浩(九州ルーテル学院大学), 細川美幸(西南学院大学), 則定百合子(和歌山大学), 酒井 厚(東京都立大学・PEERS 代表), 眞榮城和美(白百合女子大学), 室橋弘人(金沢学院大学)
- 本研究は JSPS 科学研究費の助成を受けました(22K03067)